

ドイツの作曲家フンパーディング作曲の全3幕のオペラ。原作はグリム童話の「ヘンゼルとグレーテル」です！

..... あらすじ

第1幕

貧しいほうき職人の夫婦と二人の子どものヘンゼルとグレーテルが森の近くに住んでいた。ある日、家で留守番をしていた二人がほうきを作る仕事に飽き、猫や仲間たちと遊んでいると魔女がいつしか現れ、その猫と仲間たちを騙して自分のところに連れてゆく。

続いてお母さんが家に帰って来るが、二人が仕事もせずに遊んでいたことを知って腹を立て、いちご摘みに森へ行かせる。

そこに、お父さんが食料をたくさん持って陽気に歌いながら帰って来てお土産を見せると、お母さんは機嫌を直すが、子どもたちが森へ行ったことを知ったお父さんは、森にはお菓子の魔女が住んでいて子どもを捕まえて食べてしまうと語り、子どもたちを捜しに森へ二人で行く。

第2幕

森の奥に来てイチゴをいっぱい摘んで安心していたヘンゼルとグレーテルだったが、日が暮れて二人は道に迷って帰れなくなる。怖がる二人だったが眠りの精が優しく眠らせる。

二人は天使たちの夢を見る。

第3幕

露の精が現れて兄妹が目覚めると、二人はまったく同じ夢を見ていたことに驚く。

そして二人の目の前にいつの間にか魔女が魔法で作ったお菓子の家が現れ、二人はお菓子を食べまくるが、家の中から出てきた魔女に捕まり食べられそうになる。

しかし二人は、機転を利かせて逆に魔女を退治する。

するとお菓子の家も消えてしまい、魔女の手下にされていた猫ももとの可愛い猫に戻り、魔法によりお菓子にされて眠らされていた他の子どもたちも助け出される。

みんなで喜んでいるところにお父さんたちが現れ、「どんな苦しみも乗り越えられる！」と全員で高らかに歌い、幕となる。

..... 主な登場人物

ヘンゼル／兄

グレーテル／妹

ペーター／ほうき職人。二人のお父さん

ゲルトルート／二人のお母さん

お菓子の魔女／魔法でおびき寄せた子どもたちを捕まえ食べてしまう魔女

眠りの精／森の妖精。二人を眠りにつかる、

露の精／森の妖精。二人を目覚めさせる。

その他、お婆さん、猫、仲間の子どもたち、など

会場への交通アクセス

- JR八幡浜駅より伊予鉄バスで30分
(三島神社前下車) 徒歩3分
- 八幡浜駅より車で15分
- 松山より車で1時間30分

ユニバーサルデザインでオペラを！

- 楽譜が読める方はもちろん、楽譜が読めないという方もどうぞ！
- 年齢、性別、国籍、障がいや、音楽の経験の有無にかかわらず、様々な方が一緒に参加し、舞台を楽しめるよう演出を工夫しています。

会員・ボランティアスタッフ、募集中！
詳しくはオペラプラザ愛媛事務局まで。

